

2020年度 KESエコロジカルネットワーク 説明会用資料

2020年4月21日

KESエコロジカルネットワーク事務局

2020年度説明会について

KESエコロジカルネットワークとして、以下の点についてご理解していただいた上で、取組を進めていただきたいと思います。

- 生物多様性保全とは
- この取組の意義
- 京都の文化とのつながり
- 希少植物育成の注意点
- 取組の具体的な進め方
- KESの取組としての進め方

資料一覧

1. 説明会の趣旨とネットワークの概要 【この資料】
2. 都市の生物多様性～「和の花」と雨庭を中心に
(公財)京都市都市緑化協会理事長 森本幸裕
3. 京都市の生物多様性とその保全
京都市環境政策局環境企画部環境管理課
4. 京都の伝統・文化と自然 フタバアオイ
(一財)葵プロジェクト 高瀬川薫子
5. 希少植物の生息域外保全
(公財)京都市都市緑化協会 佐藤正吾
6. 敷地内緑化・その他生態系保全活動の意義
(公財)京都市都市緑化協会 佐藤正吾
(公財)京都市環境保全活動推進協会 井上和彦
7. KES活動における生物多様性の取組みについて
(特非)KES環境機構 長畑和典
8. KESエコロジカルネットワークの取り組む希少植物の保全
(特非)KES環境機構 木村二郎
9. 希少植物の栽培セット受け渡し等について

KESエコロジカルネットワークとは

- 2014年3月に「京都市生物多様性プラン」が策定されたことを機に、事業者による生物多様性保全の取組を広げることを目的としています。
- 生物多様性に配慮した緑を増やし、ひとつひとつは小さくても点と点をつないで「ネットワーク化」することで、京都全体の生物の生息環境を向上させます。
- 事業所でそれぞれできる取組から始め、社員や関係者に生物多様性保全の考え方等を広げ、個々が具体的に取り組むきっかけにします。

2019年度の参加事業所マップ(京都市周辺部のみ)



これまでの経過

- 2014年3月に「京都市生物多様性プラン」策定
- 2014年度 京都駅ビル周辺でパイロット事業(18事業所参加)
- 2015年度から本格スタート
 - 2015年度 96事業所
 - 2016年度 180事業所
 - 2017年度 226事業所
 - 2018年度 247事業所
 - 2019年度 254事業所
 - 2020年度 257事業所(4/13現在)

重視すること

- 生物多様性保全への理解
- KESという仕組みの中で、組織的に責任をもって取り組むこと
- 各事業所の取組を集めてネットワーク化し、地域全体の成果に結びつけること
- 京都の文化への貢献につなげること
- 取組を広く知ってもらうことで、社会での認知度を上げる

様々な場所での貢献と情報提供

- 上賀茂神社への葵里帰り(フタバアオイの奉納)
- 祇園祭会場でのヒオウギの展示
- 梅小路公園での「藤袴と和の花展」
- 京都駅ビル「緑水歩廊」での展示
- 菊溪でのキクタニギク植栽

運営

- 特定非営利活動法人KES環境機構
<http://www.keskyoto.org/>
- 公益財団法人京都市都市緑化協会
<http://www.kyoto-ga.jp/>
- 京都駅ビル開発株式会社
<https://www.kyoto-station-building.co.jp/>
- 京都市（環境政策局環境企画部環境管理課）
<http://ikimono-museum.com/>
- 公益財団法人京都市環境保全活動推進協会（京のアクション21フォーラム）
<http://www.ma21f.sblo.jp/>

お問い合わせ先

KESエコロジカルネットワーク事務局

((公財)京都市環境保全活動推進協会アジェンダ課)

担当: 井上和彦

〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13
京エコロジーセンター内

TEL: 075-647-3535 FAX: 075-647-3536

メール: kazu.inoue@ma21f.jp

Facebook

<https://www.facebook.com/keseecologicalnetwork/>